

安全データシート (SDS)

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称 (日本語)	白馬 ハイバフ光
製品コード	104020
供給者の会社名	株式会社万立
住所	大阪府柏原市片山町 13-59
電話番号	072-977-0898
電子メールアドレス	info@mannryu.com
ファックス番号	072-977-0899
緊急連絡電話番号	090-9984-1577
推奨用途	床用洗浄剤
使用上の制限	所定の用途以外には使用しないこと
国内製造事業者等の情報	同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	—
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 2 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 2 中枢神経系 区分 2 腎臓 区分 2 全身毒性
環境に対する有害性	—

上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。

GHS ラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語

警告

危険有害性情報

強い眼刺激 (H319)

中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害のおそれ (H371)

注意書き

安全対策

ミスト／スプレーを吸入しないこと。(P260)

保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。(P308+P311)

保管

直射日光を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管すること。

廃棄

内容物を都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を厳守し、適正に廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学物質・混合物名称

白馬 ハイバフ光

化学物質・混合物一般名称

洗剤

成分及び濃度又は濃度範囲

組成物質 (1)

水 (非公開) (CAS RN : 7732-18-5)

組成物質 (2)

有機溶剤 (非公開) (CAS RN : 非公開)

組成物質 (3)

アニオン性界面活性剤 (非公開) (CAS RN : 非公開)

組成物質 (4)

ノニオン界面活性剤 (非公開) (CAS RN : 非公開)

組成物質 (5)

中和剤 (非公開) (CAS RN : 非公開)

組成物質 (6)

フッ素化合物 (非公開) (CAS RN : 非公開)

組成物質 (7)

香料 (非公開) (CAS RN : 非公開)

組成物質 (8)

染料 (非公開) (CAS RN : 非公開)

組成物質 (9)

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール (10.0%) (CAS RN : 56539-66-3)

組成物質 (10)

2-フェノキシエタノール (2.1%) (CAS RN : 122-99-6)

官報公示整理番号 (化審法)

2-フェノキシエタノール (2.1%) (CAS RN : 122-99-6) ; 化審法官報整理番号 (9-1277) 【フェノキシエタノール】 ; 化審法官報整理番号 (7-78) 【ポリオキシアルキレンモノフェニルエーテル (n = 1 ~ 200)】 ; 化審法官報整理番号 (3-558) 【エチレングリコールモノフェニルエーテル】

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール (10.0%) (CAS RN : 56539-66-3) ; 化審法官報整理番号 (2-3079)

【3-メチル-3-メトキシブタノール】

官報公示整理番号 (安衛法)

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激がある場合は医師の診断を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。異常があれば、直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄すること。直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

状況に応じて適切な保護具を着用すること。

医師に対する特別な注意事項 特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水、等。
使ってはならない消火剤	なし。
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避けること。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。消火作業は可能な限り風上から行うこと。関係者以外は安全な場所に退避させること。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な処置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用すること。
消火活動を行う者の予防措置	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙やガスの吸入を避けること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	
人体に対する保護具	作業には必ず保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用すること。
人体に対する緊急時措置	多量の場合、人を安全な場所に退避させること。必要に応じた換気を確保すること。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材・材料

少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等で良く拭き取ること。大量の水で洗い流すこと。多量の場合、人を安全な場所へ退避させ、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収すること。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備すること。火花が発生しない安全な用具を使用すること。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意すること。漏出物の上をむやみに歩かないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い_技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」を参照し、設備対策を行い、保護具を着用すること。

取り扱い_安全取扱注意事項

作業現場の換気を十分行うこと。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚や粘膜に触れたり、眼に入らないよう注意すること。

取り扱い_接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

取り扱い_衛生対策

取扱い後は手をよく洗うこと。

保管_安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管すること。

保管_安全な容器包装材料

本剤の小分け容器には、ステンレス、ポリエチレン等の材質を使用すること。鉄、アルミ製容器は避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

設定されていない。

管理濃度

設定されていない。

設備対策

蒸気、ヒューム又はミストが発生する場合は、局所排気装置を設置すること。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。

呼吸用保護具

通常の手扱いは特に必要ない。状況に応じて適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性耐有機溶剤用手袋を着用すること。

目、顔面の保護具

保護眼鏡、化学用ゴーグルまたは必要に応じてフェイスシールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

長袖作業服、安全靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	青色
臭い	微香
融点・凝固点	-5℃以下
沸点又は初留点及び沸点範囲	約 100.0 °C
可燃性	情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし。
引火点	情報なし。
自然発火点	情報なし。
分解温度	情報なし。
pH	8.2～9.2 (原液)
動粘性率	情報なし。
溶解度	水と任意に溶解する。
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	情報なし。
蒸気圧	情報なし。
比重	1.006±0.005 (20℃)
相対ガス密度	情報なし。
粒子特性	情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性	自己反応性無し。酸性物質とは中和反応により発熱する。
化学的安定性	通常取り扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	鉄、アルミ等は腐食するので接触を避ける。
避けるべき条件	性能上問題ないが、紫外線による退色のおそれあり。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報：情報なし

成分の有害性情報

急性毒性 (経口)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入：気体)	GHS 定義による気体ではない。
急性毒性 (吸入：蒸気)	データ不足のため分類できない。

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	10×（眼区分 1+皮膚区分 1）+眼区分 2A+眼区分 2B+眼区分 2 の成分合計が 22.3%であり、濃度限界（10%）以上のため、区分 2 とした。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（中枢神経系中枢神経系、腎臓、全身毒性）の成分合計が 1.8%≧1%のため、区分 2（中枢神経系、腎臓、全身毒性）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

製品としての環境影響情報：情報なし

成分の環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期（慢性）	データ不足のため分類できない。
生態毒性	情報なし。
残留性	情報なし。
分解性	情報なし。
生体蓄積性	情報なし。
土壤中の移動性	情報なし。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物（化学品）	焼却する場合、関連法規・法令を厳守すること。廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物収集・運搬・処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を厳守し、適正に処分すること。
汚染容器及び包装	空容器は、内容物を完全に除去してから廃棄、若しくは洗浄してリサイ

クルすることが望ましい。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 該当しない。

品名（国連輸送名） 該当しない。

国連分類（危険有害性クラス）

該当しない。

容器等級 該当しない。

国内規制がある場合の規制情報

海上規制情報 船舶安全法に定められている輸送方法に従うこと。

航空規制情報 航空法に定められている輸送方法に従うこと。

陸上規制情報 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従うこと。

緊急時応急措置指針番号 該当しない。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール（10.0%）（CAS RN：56539-66-3）；ラベル表示・SDS 交付義務対象物質（規則別表第2の2191）【3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール】

2-フェノキシエタノール（2.1%）（CAS RN：122-99-6）；不浸透性保護具使用義務物質【2-フェノキシエタノール】、区分【皮膚刺激性有害物質】

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）

毒物及び劇物取締法

その他の国内法令

2-フェノキシエタノール（2.1%）（CAS RN：122-99-6）；消防法・危険物 類別 性質【第4類 引火性液体】、品名【第三石油類】

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール（10.0%）（CAS RN：56539-66-3）；消防法・危険物 類別 性質【第4類 引火性液体】、品名【第二石油類】

外国法令等

16. その他の情報

参考文献

化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS） 改訂9版（国際連合）

GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度（厚生労働省）

NITE-Gmiccs（独立行政法人製品評価技術基盤機構）

NITE-CHRIP（独立行政法人製品評価技術基盤機構）

[免責]

この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠して作成しております。改訂日における最新の情報に基づいていますが、すべての情報を網羅しているものではありません。まだ知られていない危険有害性を有する可能性がありますので、取り扱いの際はできるだけ安全確保に努め、ばく露を避けるよう十分ご注意ください。